

例年に比べて短期間ながら、途

て、文化界のことばを懸命に大蔵

ないのも事実。

中色々波瀾もあつた昭和五十年

省等の同業者へ翻訳伝達している

ご安心下さい。手続きは一見非

予算編成も一段落して、かつて先

のであるから非力及ばざる点は平

文化的でも、予算もまた人間と人

輩から聞かされた「予算は専門家

にご容謝をということにつきよう。

間がからみ会って進行する現代の

と素人の合作である」ということ

実際、それぞれに個性ある貴重

文化的状況そのものなのである。

ばの二重の正しさにあらためて感

な価値を、縄文も平安期も江戸時

そこには、天然記念物「トキ」に

心している。

代も一緒にして、件数〇〇件と表

別れを告げる感傷の涙もあつたし、

予算などというと、文化振興に

現するガサツさにあきたらず、一

ささやかな民俗資料予算の伸びに

お役所がか

かわるとい

対する

う、やむを

得ない仕儀

笑顔も

の中での文

律に単価〇〇円をかけるがごとき

る背景、歌になる素地を、陰に陽

化のシロウトによる非文化的手続

は（極端に単純化して表現すれば

に総体としてまとめ、結構見応え

サイドからの見方もあり得よう。

の話で、現実にはもう少し緻密に

のある劇的文化現象として、例年

これに対して、（私は別として

やっていないが）、文化を冒瀆する

どおり昭和五十年予算もまた編

も）まわりの真面目なお役人を代

棄するならば、この非文化的手続

成されたのである。

きに習熟する職にある誇りにかけ

金がなくてはこの世の中何もでき

# 予算と文化

記念物課長

## 沢田道也

あつた。

随所に

絵にな

No.78 昭和50年2月15日発行 ●編集発行文化庁長官官房庶務課東京都千代田区霞が関3-2-2〒100☎(代表)03-581-4211  
題字=今日出海前文化庁長官 表紙=和泉賢三 印刷=東京真宏印刷株式会社